



かがやき新聞

第4号

かがやき隊員 小林駿

移住イベントJOIN

一月十六日大雪の日、私は東京で京都の田舎暮らしを提案するため、移住イベント「JOIN」に参加していました。

大都会から移り住もうという人にとって京都とは観光地のイメージが強く、田舎暮らしができることはあまり馴染みがないようで、話をした人達には興味を持っていただけました。

しかし、京都という時点で検討し上げない人も多数いるようでした。今後そういう方達にも、京都でも豊かな自然と共に暮らす事が出来るというアピールをす

る方法を考える必要があるように思いました。

それにしても、全体で一人万人近くの来場者があり、狭い所に押し込められて生きるより、のびのびと暮らしたいと思う人が確実に増

えているのを実感しました。



空き家めぐりツアー開催

二月二十六日、花脊・別所・広河原地域の空き家を見てまわるツアーを開催しました。第2回目となる今回のツアーでは前回は大きく上回る7組二十一名のご参加をいただきました。大人数の参加で各家をめぐり、最後は広河原のOKU京都ねっとメンバーの家でお茶会をしました。現在は、参加者と大家さんとのマッチングの調整中です。

近くにお住いの皆様には、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

また、活用して欲しい空き家の情報をお待ちしております。連絡は、左京区役所花

春



広河原菅原町の菊地家で移住や家の改修のお話を聞かせていただきました。40代ぐらいの参加者が多く、今後の参考にしたいとの事でした。

花背ゲストハウスプロジェクト『HANA-Re』について

平成二十五年度より洛峰コイマプロジェクトで実施してきた空き家調査。その調査した空き家の1軒が別所にあります。その古民家の縁側からの景色を見たときに、「ここをたくさんの人に知って欲しい！」と感じました。そして美しい庭を持つこの家をゲストハウスとして活用させていただくプロジェクトを、私が代表となり立ち上げました。名前は「離



れ」と「花背」と「Recycle Reuse」を掛け合わせて、『HANA-Re』。お借りしたのは離れだけだったので、キッチンや洗面など水回りは牛舎を利用し、自分たちで増築しています。

今まで大がかりな大工仕事なんてしたことがなかった私ですが、なんとか作業を進めていくうちに、徐々に完成に近づいていく喜びを実感しています。

OPENまではまだまだ時間がかかるし、課題もたくさんありますが、ぜひ温かい目で見守っていただけると幸いです。また近いうちに近隣の方々には詳しくご説明できる場を設けたいと思っておりますので、よろしく願います。



ひとこと

ようやく春の兆しが見えてきたこの頃。今年の冬はなかなか雪が多かったようで、自然からも洗礼を受けた気分です。そしてまた一つの地域のことを知りました。

話は変わりまして毎年十一月三十日は実家で餅つきをしています。どこでどんな仕事をしていても、海外にいても必ず帰ってくる日になり、親戚やその

友達、更に友達の友達等々が集まり、今では五十人近く来るイベントになってしまいました。ちなみにこの石臼、今年九十七歳になる祖母が生まれた頃からあったそうなので、約百歳。まだまだ現役です。最後になりましたが、前回の新聞から大幅に時間がたってしまったこと、申し訳ありませんでした。



京都市文化市民局地域自治推進室

京都市北部山間かがやき隊左京区担当

小林 駿

mail : kogdc131@city.kyoto.lg.jp

花春出張所 tel : 746-0215